

2026 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 NISSHA 株式会社

代表者名 代表取締役社長 最高経営責任者 鈴木順也

(コード番号 7915 東証プライム市場)

問合せ先 取締役専務執行役員 最高財務責任者 井ノ上大輔

(TEL. 075-811-8111)

減損損失(連結決算)および関係会社株式評価損(個別決算)の計上に関するお知らせ

NISSHA 株式会社(以下、当社)は、2026 年 12 月期第 2 四半期(中間期)の決算において、のれんの減損損失(連結決算)および当社が保有する関係会社株式の評価損(個別決算)を計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. のれん減損損失の内容(連結決算)

当社が 2026 年 5 月に株式を取得した USM HEALTHCARE MEDICAL DEVICES FACTORY JOINT STOCK COMPANY(以下、USM)ののれんにつきまして、USM 株式の譲渡を踏まえて実施した国際会計基準(IFRS)に基づく減損テストの結果、回収可能価額が取得時の想定を下回ることとなったため、のれんの減損損失 6,759 百万円をその他の費用に計上しました。

当社は 2026 年 6 月 26 日に当社買収前の USM における不適切な会計処理を認識して以来、その全容の解明に努めてまいりました。結果として、USM の事業に将来性がなく、USM を買収した当初の目的を実現することが難しいと判断し、USM 株式の譲渡を決定いたしました。USM の買収と株式譲渡に伴い発生する最大損失額は前記のとおり、6,759 百万円であり、これらは当第 2 四半期(中間期)連結累計期間にて計上済みです。今後は、これらの損失の回収に努めてまいります。また、取締役会において、USM の買収を決定するに至ったプロセスを検証し、その結果をもとに、同種事案の未然防止策の策定、コーポレートガバナンスの一層の強化、本件に関する責任の在り方などについて検討を進め、総括を行いました後、それらの内容を開示いたします。株主ほか関係者のみなさまに対して、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことについて深くお詫び申し上げます。

なお、USM 株式の譲渡を決定した経緯およびその後の譲渡状況については、2026 年 9 月 4 日付「連結子会社(特定子会社)の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」および 2026 年 9 月 17 日付「(開示事項の経過)連結子会社の異動(株式譲渡(一部))完了に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 関係会社株式評価損の内容(個別決算)

USM の株式について、日本基準における「金融商品に関する会計基準」に基づき評価を行った結果、帳簿価額に対して実質価額が著しく低下したため、関係会社株式評価損 6,133 百万円を特別損失に計上しました。

なお、この特別損失は当社の個別決算のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への追加的な影響はありません。

以 上